

2025 年 11 月吉日

第 43 回比較文明学会大会のご案内

第 43 回比較文明学会大会実行委員会

平素より学会活動にご協力を賜り、感謝申し上げます。来たる 12 月 20 日（土）・21 日（日）に、早稲田大学早稲田キャンパスで第 43 回比較文明学会大会が開催されます。大会概要およびプログラムは、次ページ以下をご覧ください。

なお、ご参加にあたりましては、①事前申込みおよび②参加費・懇親会費の事前振込みをお願いします。事前申込みは、以下の申込みフォーム（Google Forms）から必要情報をご登録ください。特に、懇親会ご参加予定の方は、手配の都合上必ず 12 月 11 日（木）までにご登録くださいますようお願い申し上げます。

申込みフォーム：<https://forms.gle/fLxR1oksrXYxCpbR9>
（右記 QR コードからもアクセスできます。）



参加費は、

一般会員・賛助会員：3,000 円

学生会員：500 円

非会員：500 円

懇親会費は、

一般会員・賛助会員：6,000 円

学生会員：3,000 円

非会員：6,000 円

となっております。参加費と懇親会費は、合計額を以下の口座にお振込みください。振込手数料は、ご自身でご負担をお願いいたします。当日受付でお支払いいただくことも可能ですが、事前のお振込みにご協力をお願い申し上げます。

振込先：ゆうちょ銀行 店名：一三八（イチサンハチ） 店番：138

普通預金 口座番号：0526560

名義：ヒカクブンメイガツカイトイカイジッコウイインカイ

※郵便局の払込取扱票（青）の場合

口座記号：11380 口座番号：05265601

加入者名：ヒカクブンメイガツカイトイカイジッコウイインカイ

ご不明点等は大会実行委員会（jscsc43rd@gmail.com）までご連絡下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

以上

第 43 回比較文明学会大会概要

1. 日程

2025 年 12 月 20 日（土）・21 日（日）

2. 会場

早稲田大学早稲田キャンパス（東京都新宿区西早稲田 1-6-1）

3. 大会テーマ

文明の調和と共生の可能性

—日本の「近代化」に関する比較文明学からの再検討

4. 大会趣旨

周知の様に日本の「近代化」は、「西洋（とりわけ西欧）文明化」として語られる。こうした意味での「近代化」は、他のアジア地域に先駆けて実現した。この点に関しては、これまで様々な研究を通じて多方面から検討されてきたものの、未だ十分解明され尽くしてはいないといえる。というのも、従来の「近代化」に関する研究は、個々の領域の具体的研究が主であり、それらを比較文明学的な総合的な視点から検討するという試みは、必ずしも十分なされてこなかったからである。

今回の大会では、日本の「近代化」・「西欧文明化」の過程を比較文明学的な視点から考察したい。特に、異なる文明の移転・定着から変容の過程を、文明の生成・発展のダイナミズムの典型的な形態として、再検討を試みたい。こうした再検討から見えてくるのは、単純に「西欧文明化」としてだけでは理解し得ない複雑な移転・定着、そして変容のプロセスだろう。

日本の「近代化」は、明治期以降に突発的に起こった訳でなく、江戸幕府のもとでも徐々に進行していたともいえる。「鎖国」を実施したといわれもする江戸幕府のもとでの日本も、諸外国に対して閉ざされていた訳ではない。西欧の文化も様々な形で流入していた。国学者や攘夷派の論客も西欧の思想を吸収していた。一方で、明治期に、夏目漱石は、その文明論「現代日本の開化」の中で、日本の「近代化」を「皮相上滑り」のものと指摘した。それは、夏目から見て、内発的な近代化とは評し得ない実像であったからであった。さらに、日本の「近代化」の中には、王政復古の基盤を形作る中国文明など、複数の文明が伏在していたようにも見える。その中で、日本の文明はどのようなものとして形成されていったのか。そもそも固有のものとして存在し得たのか。

こうした日本における「近代化」を比較文明学的にどう評価すべきなのだろうか。本大会では、その総括を図ることにしたい。個々の専門領域の研究を踏まえつつも、総合的かつグローバルな視点から、日本の「近代化」について、そのダイナミズムを明確化する事を目指す。

5. 連絡先

第 43 回比較文明学会大会実行委員会

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学法学学術院 小西暁和研究室

大会専用電子メール：jscsc43rd@gmail.com

第 43 回比較文明学会大会プログラム

【第 1 日目 12 月 20 日 (土)】

10:00～12:00 役員会 (8 号館 219 会議室)

12:00～12:45 編集委員会 (8 号館 217 会議室)

12:30～ 受付開始 (27 号館地下 2 階 小野記念講堂ロビー)

※参加費・懇親会費は事前振込みを基本とします。

・参加費：一般会員・賛助会員 3,000 円、学生会員・非会員 500 円

・懇親会費：一般会員・賛助会員・非会員：6,000 円、学生会員：3,000 円

13:00～14:00

(1) 基調講演 (27 号館地下 2 階 小野記念講堂)

テーマ：

「明治日本—比較文明学からの再検討」

基調講演者：

川勝 平太 氏 (元静岡文化芸術大学学長)

14:10～16:30

(2) シンポジウム (27 号館地下 2 階 小野記念講堂)

テーマ：

「比較文明学からみた日本の『近代化』」

司会：

金子 晋右 氏 (佐賀大学教授)

シンポジスト：

島田 竜登 氏 (東京大学准教授)

袁 甲幸 氏 (早稲田大学講師)

小西 暁和 氏 (早稲田大学教授)

保坂 俊司 氏 (比較文明学会会長、中央大学教授)

16:40～17:40 総会 (27 号館地下 2 階 小野記念講堂)

18:00～20:00 懇親会 (大隈ガーデンハウス (25 号館) 3 階)

【第 2 日目 12 月 21 日 (日)】

(会場は全て 8 号館 3 階各教室)

9:00～ 受付開始 (8 号館 3 階エスカレーター前)

9:30～16:00 個人・グループ研究発表

共通論題報告 1 (308 教室 9:30～11:00)

共通論題報告 2 (308 教室 11:00～12:30)

部会 1 グループ研究発表 (308 教室 13:30～15:40)

部会 2 個人研究発表 (309 教室 13:30～14:30)

部会 3 個人研究発表 (310 教室 13:30～14:30)

部会 4 個人研究発表 (309 教室 14:30～15:30)

部会 5 個人研究発表 (310 教室 14:30～16:00)

休憩室 (311 教室 9:00～16:00)

12月21日（日）個人・グループ研究発表時間割
（会場は全て8号館3階各教室）

〔午前の部〕

共通論題報告1 座長：保坂俊司 308教室 9:30～11:00	
鎌田 出（至誠館大学）	日本近代における「大和魂」—吉田松陰の「大和魂」再考—
佐野仁美（慶應義塾大学）	情報文明から振り返る福澤諭吉のメディア論的考察
三枝守隆（無所属）	日本の近代化論に対する挑戦としてのユク・ホイの形而上学：トインビーの比較文明論に依拠した批判

共通論題報告2 座長：小西暁和 308教室 11:00～12:30	
小川晃生（愛媛大学）	価値合理性から見た日本の近代化のいくつかの側面に関する考察
田中賢司（独立行政法人海技教育機構海技大学校）	日本の近代化と海事英語
秋山 龍（早稲田大学大学院）	「恩赦」の刑事政策的機能についての比較文明論的検討

〔午後の部〕

部会1 グループ研究発表 308教室 13:30～15:40	
佐藤壮広（山梨学院大学） 加藤久典（中央大学） 宮嶋俊一（北海道大学） Ten Veniamin（京都産業大学） 郭 旻錫（京都大学） 阿毛香絵（京都大学） 今井慧仁（北星学園大学）	（シンポジウム） 映像と文明の往還～比較文明学のスコープで映像作品を読み解く～

部会2 個人研究発表 座長：島田竜登 309教室 13:30～14:30	
金子晋右（佐賀大学）	大隈重信の反関税戦争と反民族差別：現代との比較を中心に
平林豊樹（岐阜聖徳学園大学）	革命は様々な社会運動との関連でどう理解されるべきか

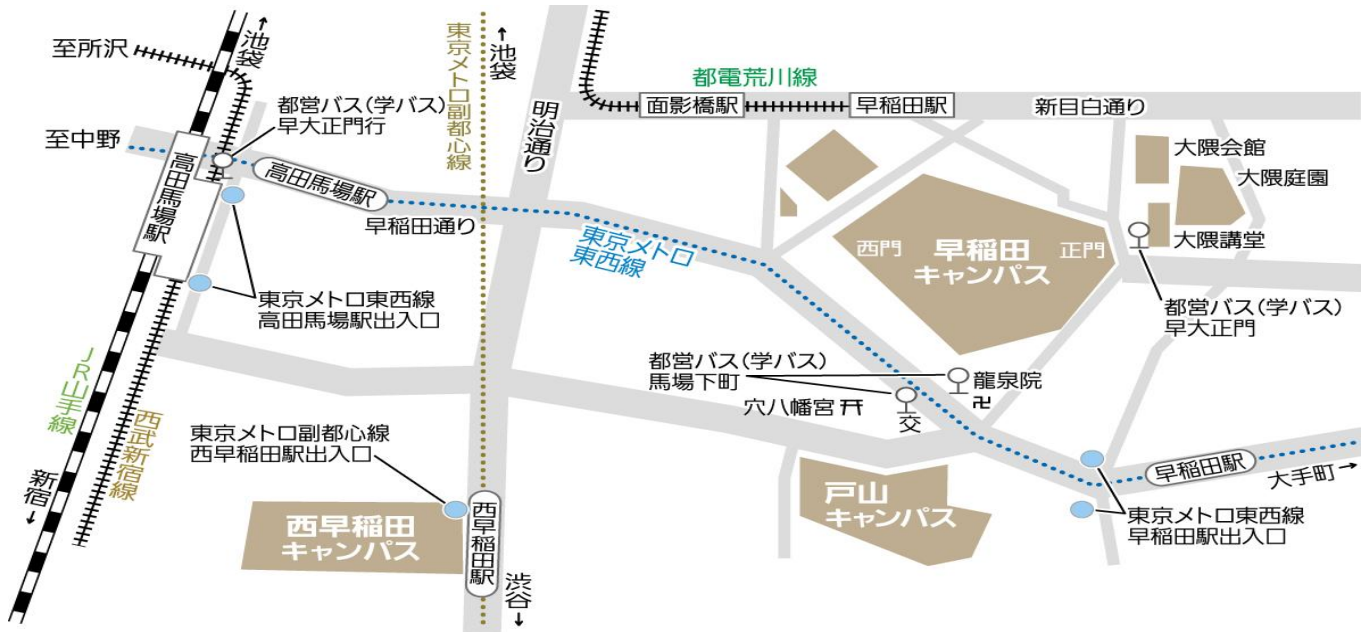
部会3 個人研究発表 座長：三田剛史 310教室 13:30～14:30	
汪 義翔（東京理科大学）	「玉で目を示す」文化の比較文明論的考察—興隆窪・紅山文化と縄文文化における視線表現と文化的共鳴
岩松文代（北九州市立大学）	竹の東西交流文明試論

部会4 個人研究発表 座長：金子晋右 309 教室 14:30～15:30	
梅村麦生（神戸大学）	国を越えて地域と地域をむすぶ農業：技能実習生の送 出－受入関係から
胡 晨羽（東海大学大学院）	中国人訪日医療ツーリズムの可能性に関する研究（第 一期）：文献分析を通じた現状と課題の構造化

部会5 個人研究発表 座長：梅原宏司 310 教室 14:30～16:00	
犬塚潤一郎（実践女子大学）	Apodosis としての環流－プラトンの正義論と AI 技術 社会の秩序
林 正博（東京都市大学）	西欧哲学に関する比較文明論的考察
神出瑞穂（科学技術・生存システム研究所）	生物との調和と共生の視点からの文明の転換 試論

【第 43 回比較文明学会大会会場ご案内】

〈早稲田大学早稲田キャンパスまでの経路〉



〔徒歩の場合〕

地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」から徒歩 5 分

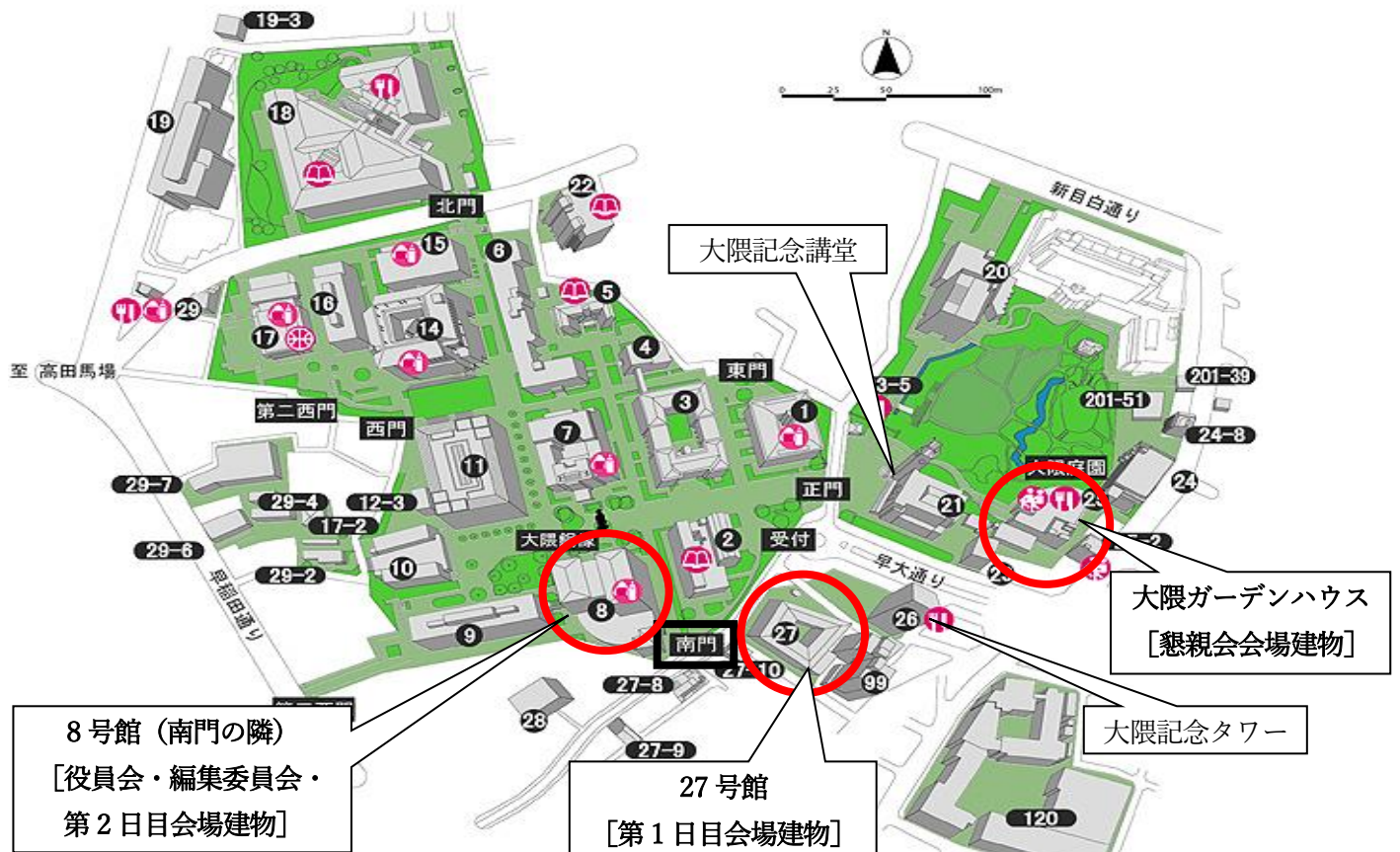
地下鉄東京メトロ副都心線「西早稲田駅」から徒歩 17 分

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場駅」から徒歩 20 分

〔バスの場合〕

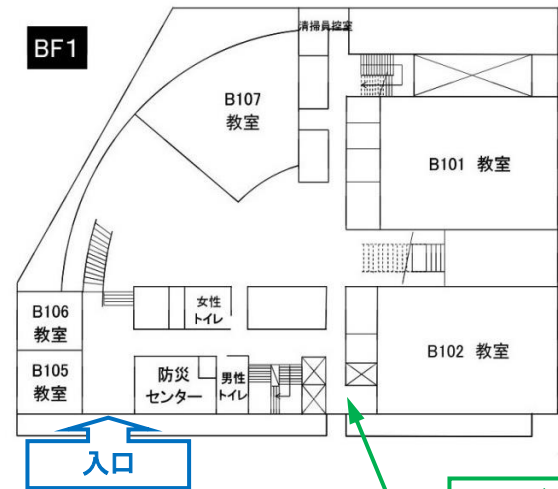
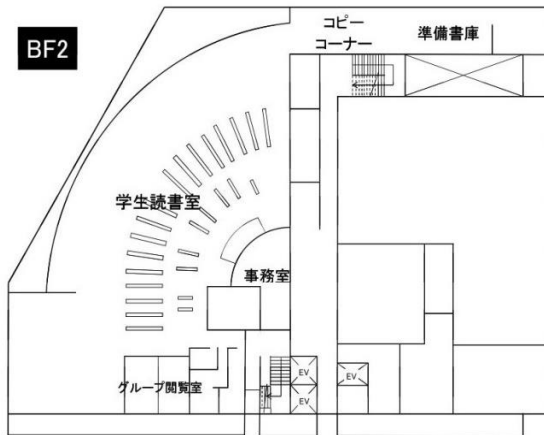
都営バス学 02 (学バス) 高田馬場駅ー早大正門 (早大正門バス停下車)

〈早稲田キャンパス内地図〉



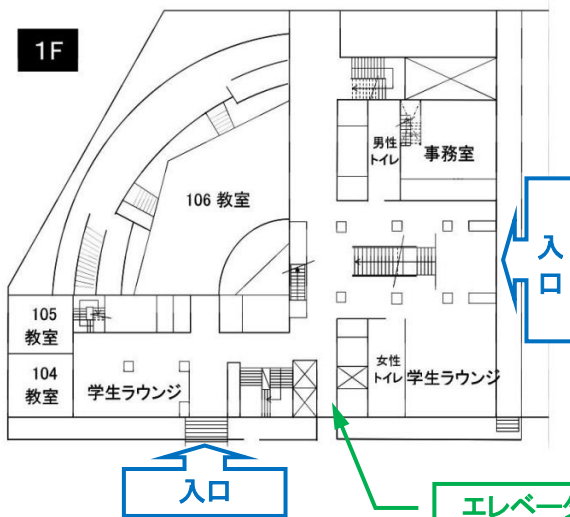
※大隈記念講堂 (21 号館)・大隈記念タワー (26 号館) が目印の建物になります。

8号館内案内図

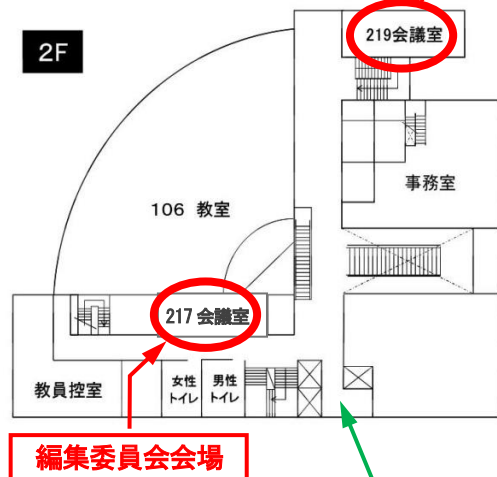


エレベーター

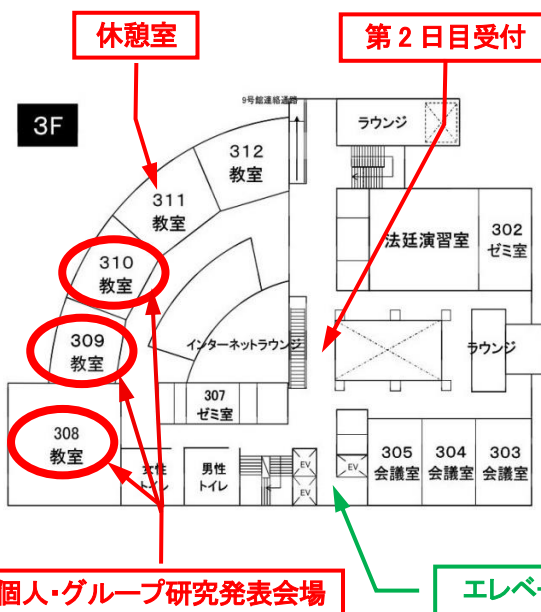
役員会会場



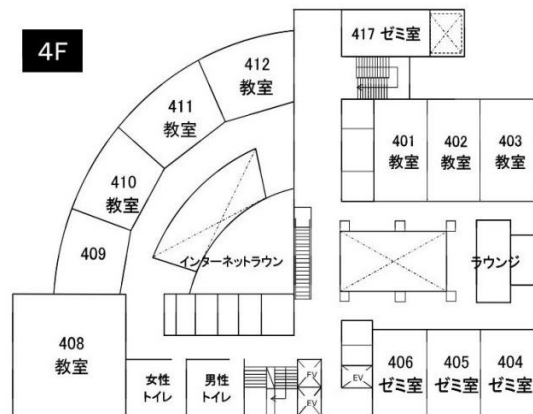
エレベーター



エレベーター



エレベーター



昼食について

昼食は、各自でご用意下さい。地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」等の最寄りの駅から早稲田大学早稲田キャンパスまでのルートには、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソンなどのコンビニエンスストアが複数ございます。また、地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」周辺には、マクドナルド、モスバーガー、松屋、日高屋などのチェーン店や、食堂・ラーメン店等も多数あり、ご利用いただくことができます。なお、第1日目・第2日目の会場建物の目の前には、「ファミリーマート早稲田大学南門店」があり、便利ですので、必要に応じてご利用ください。

以上